

2022年12月4日 午前礼拝
「荒野の試練①」 説教者:堺希望伝道師

【引用聖句】

マタイ 3:16~4:4

16. こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。
17. また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」

1. さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。
2. そして、四十日四十夜断食したあとで、空腹を覚えられた。
3. すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」
4. イエスは答えて言われた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。」

【説教要約】

今回のテーマは「試み」です。それは文字通り信仰を試されるということです。

なぜイエス様が試みに遭う必要があったのでしょうか。イエス様はすべてをお造りになり、すべてを裁く権威のある神の子です。それはただ、私たちのためだったのです。信仰を試されることこそ、すべての人が通り、また失敗してきた道だからです。

創世記 3 : 4~6

4. そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。
5. あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」
6. そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

最初の人アダムとエバは、神様から「決して食べてはならない」と言われていた善悪の知識の木の実を食べたのです。どうしてそのようなことをしたかと言えば、「自分が神になりたい」と思ったからです。信仰の戦いとは、誰を神とするかという戦いです。生きておられる唯一の神様を神とするのか、自分を神とするかという戦いなのです。

しかし、旧約聖書を見るならば、ほとんどすべての人がその戦いに敗れてきました。先ほど見た最初に造られた人アダムとエバがすでにそうなのです。旧約聖書は不信仰の歴史です。すべての人は彼らの子孫なので、生まれつき、自分を神とする生き方しかできなくなりました。

それは、神様に特別に選ばれた民であるイスラエルもそうです。彼らは、神様がどのようなお方で、何を喜び、何を忌み嫌われるか、律法というみことばをいただいていた。しかし彼らもまた信仰の試練に敗れ、悲惨な道を歩むことになったのです。

しかし、イエス様の試練は何のためにあったかと言えば、他ならぬ私たちのためです。信仰に生きることでできない私たちの為に、神御自身であられるイエス様がその試練を通過させたのです。また、その試練に勝利してくださいました。

それは、もしイエス様を信じるならば、例え自分がどんなに弱くても、イエス様と同じように勝利した者だと神様が見てくださるためです。イエス様は私たちに、ご自分の勝利をお与えになるために試練を通過させたのです。

またすべての人が通るはずだった不信仰の道から、御霊によって、イエス様の通られた信仰の勝利の道へと歩みを変えるためです。

今日はその、最初の試練を見ていきます。

① 荒野に導かれる神の子

マタイ 3 : 16

16. こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。

17. また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」

マタイ 4 : 1

1. さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。

3章の終わりでは、神の子であるイエス様が罪人の受けるバプテスマを受けてくださったことを見ました。その後で、神様からはっきりと声をかけられるのです。「これは、わたしの愛する子」と。神様の、揺るがない愛の対象でした。イエス様を信じた人にもまた、神様はこのように思っておられるのです。「あなたは、わたしの愛する子」と。

しかし不思議なことに、その直後に試練があるのです。イエス様と共におられた聖霊は、イエス様を荒野に導かれました。荒野は、食べ物、水、他人のいない場所です。ここでイエス様は40日間断食をして過ごされます。愛する神の子を、神様は王宮に置くのではなく、荒野に導かれるのです。

神の子なら、他の人より幸せで、不自由がなく、快適な人生になるんじゃないかと思われる方がおられるかもしれません。それは多くの人が願い、求めるものです。実際、イエス様はその権利のある方でした。

しかし神様は愛する子を、不快で不自由な荒野に導かれるのです。安全よりも困難を与えら

れます。それはこれから見ていきますが、神様がどのようなお方なのかを体験させ、神様を信頼するためなのです。イエス様だけでなく、すべての「愛されている神の子」は荒野に導かれます。

②生かすお方

マタイ 4:2,

2. そして、四十日四十夜断食したあとで、空腹を覚えられた。
3. すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」
4. イエスは答えて言われた。『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』と書いてある。」

イエス様は荒野でまず40日間の断食をされます。断食の目的は、祈りです。少量の食べ物で過ごすか、あるいは絶食した状態で祈ります。この目的は空腹に耐えるための訓練ではなく、熱心に祈ることで神様に願いを聞いていただく事でもありません。

食事を抜くので体が弱ります。同時に心も弱ります。誤魔化すことが出来なくなってくるので、その弱さについて神様に助けを求めます。本当に必要なことだけが迫り、祈りが深まっていけます。それは神様との交わりが深まるということです。

イスラエルでは習慣的に断食がありましたが、40日もの断食はありませんでした。40日間まともに食事を摂らないと、断食は途中で空腹を覚えなくなる時が来るそうです。体が空腹を感じさせないように機能するのです。

けれども次に空腹を覚える時に、その時は食べないと餓死してしまいます。ですから、イエス様の状態は生死をさまようようなものであったに違いありません。

そのような状態のイエス様のもとに悪魔がやってくるのです。極限状態のイエス様を試すためでした。悪魔が言ったことはこうです。「あなたは神の子なんでしょう？なら目の前にある石をパンに変えることなど簡単でしょう。パンを作って、自分の空腹を満たしたらどうですか？」

「あなたは神の子なのだから、自分の力に頼ればいい」と言っているのです。

イエス様は、パンを生み出すことは簡単な事でした。それこそ、有名な5つのパンと2匹の魚の奇跡のように。イエス様が「欲しい」と思えば簡単にパンは手に入り、限界まで空腹である状態を満たすことができたはずです。しかしイエス様は悪魔の提案を退けます。

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる」と。

これは申命記8章からの引用です。

申命記 8 : 2, 3

2. あなたの神、主が、この四十年の間、荒野であなたを歩ませられた全行程を覚えていなければならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試み、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。
3. それで主は、あなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべてのもので生きる、ということ、あなたにわからせるためであった。

これはモーセが、40年間荒野をさまよったイスラエルに向けて最期に語ったメッセージです。イスラエルもまた荒野で旅をしました。当然何もなく、飢え死にするかと思いました。それでイスラエルは神様に文句を言うのです。

出エジプト 16 : 2, 3

2. そのとき、イスラエル人の全会衆は、この荒野でモーセとアロンにつぶやいた。
3. イスラエル人は彼らに言った。「エジプトの地で、肉なべのそばにすわり、パンを満ち足りるまで食べていたときに、私たちは主の手にかかって死んでいたらよかったのに。事実、あなたがたは、私たちをこの荒野に連れ出して、この全集団を飢え死にさせようとしているのです。」

そんなイスラエルの文句を、神様はどのように解決されたのか。天からマナという名前のパンを降らせて、それでイスラエルの空腹を養ったのです。それも40年間毎日です。この天から降って来たマナのことを、申命記では「主の口から出るすべてのもの」と言っています。

普通ならば、パンが手に入るとしたら麦農家と出会うとか、パンを運んでいる商人と出会うとか、常識的な範囲で解決しようと考えます。そして、解決できないからこそイスラエルは文句を言いました。

しかし神様は、目に見えるパンが一番大切なのではなく、天からパンを降らせることのできる神様を信頼し、神様によって生かされることこそ、本当に大切な事だと40年かけてイスラエルに教えられたのです。

イエス様は、究極の空腹の中で、このみことばを答えられたのです。それは、イエス様を生かしてくださるのはパンではなく天の神様だと知っておられたからです。追い詰められた時に、人は何に頼るのか心の内にあるものが明らかにされます。そして、試されます。

悪魔は、「あなたには力があるのだから、自分を満足させればいいじゃないか」と言ってきます。これが誘惑です。しかし、みことばは言います。

マタイ 6 : 31~33

31. そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。
32. こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。

33. だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

神様は、私たちに必要なものをすべて知っておられ、また造り出すことも与えることもできるお方です。イエス様は、多くの場合神様を信頼することのできない私のためにこの試練に打ち勝ってくださいました。私はとても、勇敢な信仰者ではありません。追い詰められれば、不信仰が表に出てくるのです。

しかし神様は今も私を荒野に導いてくださいます。それは、私を失敗した者ではなく、イエス様によって勝利した者と見てくださっているからです。だから、何度でもチャンスを下さるのです。